

2015年2月19日(木)

協和エクシオ、山梨県内で3カ所目のメガソーラー発電施設 「石堂ソーラー発電所」が完成、稼働開始

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、山梨県北杜市に県内で3カ所目となるメガソーラー発電施設「石堂ソーラー発電所」が完成し、稼働を開始しました。

完成した「石堂ソーラー発電所」は、山梨県北杜市内の約16,400平方メートルの敷地内に4,480枚の太陽電池モジュールを設置し、出力約1,117kW、年間発電量で一般家庭の約350世帯分の電力消費量に相当するメガソーラーによる発電を実施します。また、同発電所は自然豊かな場所に位置していることから、敷地の周りには植樹を施し、配色や景観にも配慮しています。

当社は環境事業の一環として、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センター」（東京都府中市）での稼働開始を皮切りに、現在は全国5カ所で稼働しており、山梨県においては2013年7月の「新府ソーラー発電所」（韮崎市）、2013年12月の「小瀬ソーラー発電所」（甲府市）に続く3カ所目の施設で、いずれもメガソーラー発電施設となります。

当社では、今後もメガソーラーをはじめとする発電事業を強化していくとともに、太陽光発電システムの設備設置工事に関しても、今回の施工実績を踏まえ、提案を強化していく方針です。

「石堂ソーラー発電所」の施設概要は以下の通りです。

《「石堂ソーラー発電所」施設概要》

施設名称：石堂ソーラー発電所
所在地：山梨県北杜市大泉町西井出字石堂
施設規模：

- 全体用地面積 約16,400㎡
- 太陽光発電設備
 - 太陽光パネル出力 約1,117kW
 - 太陽光パネル枚数 4,480枚
 - 年間発電量（見込み） 約1,190,000kWh/年

発電事業者：株式会社協和エクシオ
工事期間：自2014年5月～至2015年2月
運用期間：自2015年2月～至2035年2月
売電開始日：2015年2月18日
設計・施工：株式会社協和エクシオ
株式会社サンクレックス
エクシオインフラ株式会社
投資金額：約3.3億円



写真は「石堂ソーラー発電所」

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：高柳 圭伸